

磨き抜いた技がせめぎ合う 第11回福智町弓道大会

県内各地の高校生からベテランの射手まで、390人が参加した「第11回福智町弓道大会」が12月12日、福智町弓道場で開催されました。参加者は射場で深呼吸をしながら精神を集中。張りつめた弓道場に的を射抜く快音を響かせ、日ごろの修練の成果を発揮しました。また、町内から「日王弓友会」のメンバー30人が参加し、団体の部で見事準優勝に輝きました。



↑一瞬の気の迷いが勝敗を左右、集中力を絶やせない攻防が繰り広げられました。

↓日ごろの訓練の成果を発揮、規律のとれた動きをみせて服装点検を受ける団員。



無災害を目指し士気を高める 平成23年下田川二ヶ町連合消防出初式

1月9日に「下田川二ヶ町連合消防出初式」が赤池グラウンドで挙行されました。突き刺すような寒さの中で行われた式では、福智町と糸田町あわせて消防団員454人・消防車20台が出動し、服装点検や分列行進などで勇姿を披露。浦田町長や来賓から、昨年起きた集中豪雨や火災から住民を守る消防団員の活躍が激励され、団員は防災への意気込みを新たにしました。

全 国優秀作品200点の中に選ばれる 渡優さん「第18回税の標語」で全国入選

方城中2年の渡優さん(弁城)が「税の標語」で全国入選を果たしました。これは、11月11日～17日の「税を考える週間」にちなみ、税の意義や役割を多くの人に理解し、今後の税のありかたを考えてもらうためのもの。渡さんの作品「消費税 きちんと納めて 明るい未来」が主催の全国間税会総連合会から高く評価され、表彰状と記念品が授与されました。



↑「思いもよらない受賞で、大変うれしく思います」と笑顔で感想を話す渡さん。

↓藤木さん(写真⑤)と3人のパネリストが人権問題解決に熱弁をふるいました。



人権尊重の社会実現に向けて 福智町人権講演会

12月19日に地域交流センターで人権講演会が開催されました。「暴力をゆるさないまちづくり・ひとづくりをめざして」をテーマに講師の藤木美奈子さんが幼少期から受けてきた児童虐待やDVなどの実体験を交えながら被害者の不安や心の痛みを告白。参加した131人に今回の講演をきっかけに「一人ひとりの人権意識向上につながってほしい」と訴えました。

↓現在61歳の由美かおるさん、美ばうと健康を保つ秘けつ「西野流呼吸法」を参加者と一緒に実践しました。



住民の健康と長生きを願う 第4回福智町住民福祉講座

1月29日を「健康長寿の日」として制定している福智町。この日にちなみ、町と社会福祉協議会主催で「福智町住民福祉講座」を1月22日、同和研修センターで開催しました。住民の福祉と健康をテーマにした今回の講座は、午前に認知症患者の介護の実態と正しい理解を呼びかけた「認知症サポーター養成講座」、午後からは水戸黄門に25年間出演していた由美かおるさんを招き「心と体の健康講座」を実施。参加した住民431人に、これから迎える超高齢化社会に対応するために健康で暮らせることの大切さを伝えました。

上野小の児童が男女共同参画を学ぶ 上野小で人権教室

人権擁護委員田川協議会による人権教室が12月20日に上野小で行われました。昔話「桃太郎」をモチーフに、おばあさんがおじいさんに家事や育児の交代を求め、男女の役割を考えさせるストーリーの紙芝居を披露。擁護委員が「男の子と女の子が助け合って仲良く勉強できるように」と願いを込めた内容に、参加した1・2年生39人は食い入るように聴き入っていました。



↑漫画家やなせたかしさんデザインによる人KENまる君と人KENあゆみちゃん。

↓全国各地で「命の大切さ」を訴えてきた池間さんは今回が2,380回目の講演。



命の大切さを赤池中の生徒に提唱 赤池中教育講演会

アジア途上国へ学校建設などの支援活動を行っている池間哲郎さんの講演会が赤池中の全校生徒約230人を対象に1月18日、同和研修センターで開催されました。ゴミ捨て場やスラム街で生きる子どもを撮影した映像を使い「一生懸命に生きる大切さ、命の尊さを日本人こそアジアの人から学んで欲しい」と訴え、豊かな日本で育つ生徒たちに警鐘を鳴らしました。